

生産者の皆さまへ

平成26年11月17日付で登録内容が変わりました。

ホクコー  
**オルトラン**® 粒剤  
水和剤



【粒剤：農林水産省登録第13177号】【水和剤：農林水産省登録第13175号】

日本では、農薬の安全性を一層担保するために、今年から短期暴露評価が導入されることになりました。この評価にあたり、ホクコーオルトラン粒剤・水和剤は自主的に登録縮小の申請をし、登録されました。これは、新たに登録された使用方法で想定される最大の農薬残留が認められる作物を、たとえ通常より非常に多く1日に摂取した場合でも、健康に影響を与えないようにするためです。このため、生産者の皆さまにおかれましては、以下の新しい登録内容にてご使用いただきますようお願いいたします。

◆ 農薬登録の削除作物について

下記、登録削除作物ではホクコーオルトラン剤を使用しないようお願いします。

ホクコーオルトラン粒剤	作物名	登録削除の内容
	ミニトマト	作物を削除
	はつかだいこん	

ホクコーオルトラン水和剤	作物名	登録削除の内容
	かんきつ	作物を削除
	トマト	
	ミニトマト	
	ブロッコリー	
	なす	
	だいこん	
	かぶ	
	はつかだいこん	

その他、「たかな」が非結球あぶらな科葉菜類から作物削除、「とうもろこし」が「未成熟とうもろこし」に変更されました。

◆ 使用方法の変更作物について

今後、ホクコーオルトラン剤は表①および表②のとおりの変更された登録内容においてご使用願います。使用上の注意事項などについては、製品ラベルをご参照ください。

表① ホクコーオルトラン粒剤

□ : 登録縮小に該当する作物  
赤字 : 変更部分

裏面もご覧ください。

平成26年11月17日現在

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオムシ、コナガヨウムシ アブラムシ類	3~6kg/10a (1~2g/株)	定植時	1回	種穴処理	2回以内 (定植時までの処理は1回以内、 定植後の散布は1回以内)
	アブラムシ類	6g/m <sup>2</sup>	育苗期	1回	散布	
トマト	アブラムシ類 オンシツコナジラミ	3~6kg/10a (1~2g/株)	定植時	1回	作業散布 又は 種穴処理	1回
きゅうり なす	アブラムシ類 アザミウマ類 オンシツコナジラミ				株元散布	
ピーマン	アブラムシ類	2g/株			種穴処理	
はくさい	アオムシ、コナガヨウムシ アブラムシ類	3~6kg/10a (1~2g/株)			株元散布	
ブロッコリー	ヨウムシ	6kg/10a (2g/株)			作業散布	
だいこん	アオムシ、コナガアブラムシ類	3~4kg/10a	は種前	1回	作業散布	
かぶ	アブラムシ類	4kg/10a	収穫21日前まで		株元散布	1回
ごぼう	アブラムシ類	3~6kg/10a	収穫75日前まで	1回	株元散布	2回以内 (株元散布は1回以内、 散布は1回以内)
れんこん		4kg/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布 無人ヘリコプターによる散布	2回以内
ばれいしょ	アブラムシ類	3~6kg/10a (1~2g/株)	植付時	1回	作業散布	3回以内 (植付時の処理は1回以内、 植付後は2回以内)
えだまめ	ハスモンヨウ	3~6kg/10a	収穫21日前まで	3回以内	生育期株元散布	3回以内
なばな	アブラムシ類	6kg/10a	定植時 は種時	1回	播溝土壌混和 播溝土壌混和	1回
花き類・ 観葉植物	アザミウマ類 アブラムシ類 ヨウムシ類	3~6kg/10a	発生初期	5回以内	株元散布	5回以内
宿根スターチス	コガネムシ類幼虫	6kg/10a				
カーネーション	コナガ					
アリウム	ネキコガ					
	きく	ネキリムシ類 ハモグリハエ類				
たであい	アブラムシ類	セル成型育苗 トレイ1箱または ペーパーポット1冊 (30×60cm、使用 土壌約1.5~4L) 当り50g	定植時	1回	本剤の所定量を セル成型育苗 トレイまたは ペーパーポットの 上から均一に 散布する。 株元散布	1回
いぐさ	イゲサシムシガ	6kg/10a 4kg/10a	生育期	2回以内	灌水散布	2回以内
芝	スジキリトウ シバツガ	10kg/10a	発生初期	5回以内	全面散布	5回以内
	タマナギガ	5~10kg/10a				
たばこ	ヨウムシ、ネキリムシ アブラムシ類 アザミウマ類 ジャガイモガ ヤサイゾウムシ	3~6kg/10a	移植前	1回	作業散布後 土壌混和	2回以内
	アブラムシ類		本畑初期		株元散布	



北興化学工業株式会社

☎03-3279-5161

http://www.hokkochem.co.jp/

表② ホクコーオルトラン水和剤

登録縮小に該当する作物  
赤字：変更部分

平成26年11月17日現在

作物名	適用病害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数	
キャベツ	ヨトウムシ、ハスモンヨウ タナキシンウガバ	1000~1500	100~300 L/10a	収穫30日前まで	1回	散布	2回以内 (定植時までの処理は1回以内、 定植後の散布は1回以内)	
	アオムシ、コナガ、アブラムシ類	1000~2000					1回	
はくさい	カブラハバチ、ヨトウムシ ハスモンヨウ	1500	100~300 L/10a	収穫21日前まで	3回以内	散布	1回	
	アオムシ、コナガ、アブラムシ類	1500~2000					3回以内	
レタス	ヨトウムシ	1000~1500	100~300 L/10a	収穫21日前まで	3回以内	散布	3回以内	
	オオタバコガ	1000					3回以内	
非結球レタス	ヨトウムシ	1000~1500	100~300 L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内	
カリフラワー	オオタバコガ	1000					3回以内	
非結球あぶらな 科野菜類 (ケール、からしな、 みずな、ルッコラ、 たかなを除く)	アブラムシ類	1500	100~300 L/10a	収穫21日前まで	1回	散布	1回	
しょうが	アワノメイガ	1000	100~300 L/10a	収穫45日前まで	1回	散布	2回以内	
ごぼう	アブラムシ類						2回以内 (株元散布は1回以内、 散布は1回以内)	
オクラ	アブラムシ類、ミドリヨコバイ	1000	100~300 L/10a	収穫開始7日前まで	1回	散布	1回	
ばれいしょ	ネトウムシ、ダマシ幼虫 ヨトウムシ						300	25L/10a
	アブラムシ類	1000~1500	100~300L/10a	2回以内				
	アブラムシ類、ジャガイモガ	1000~1500	100~300L/10a	2回以内				
てんさい	ヨトウムシ テンサイモグリハナバエ	1000~1500	100~300 L/10a	収穫45日前まで	3回以内	散布	4回以内 (育苗期の灌注は1回以内、 散布は3回以内)	
	トビハムシ類	1000						無人ヘリコプター による散布
	ヨトウムシ	16	1.8L/10a	育苗期	1回	灌注	無人ヘリコプター による散布	
	トビハムシ類	300	25L/10a					
未成熟 とうもろこし	アブラムシ類	60~100	2.5~3L/m <sup>2</sup>	1回	1回	灌注	2回以内	
あずき	アズキノメイガ	1000	100~300 L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内	
だいず	アブラムシ類、ヨトウムシ ハスモンヨウ、マシクシ、イガ							16
	えだまめ	アブラムシ類	1000	100~300 L/10a	収穫21日前まで	3回以内	散布	5回以内
いんげんまめ	アブラムシ類	1000	100~300 L/10a	3回以内				
たまねぎ	ネギアザミウマ	1000~1500	25L/10a	収穫21日前まで	5回以内	散布	5回以内	
		300						1.8L/10a
		16						1.8L/10a
にんにく	ネギコガ、アブラムシ類	1000	100~300L/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内	
ぶどう	チャノキアザミウマ フチキンヒメヨコバイ	1500~2000	200~700 L/10a	収穫60日前まで	1回	散布	1回	
	ハマキムシ類	1500						

使用上の注意事項などについては、製品ラベルをご参照ください。

作物名	適用病害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数
かき	カキグダアザミウマ チャノキアザミウマ カキハナムシガ フジコカイガラムシ	1500	200~700 L/10a	収穫45日前まで	2回以内	散布	2回以内
いちじく	アザミウマ類	2000	200~700L/10a	収穫45日前まで	1回	散布	1回
茶	チャノキアザミウマ チャノキヒメヨコバイ	1000~2000	200~400 L/10a	摘採45日前まで	1回	散布	1回
	チャノカクモンハマキ	1000~1500					
さんしょう (果実)	チャノキアザミウマ	1500	200~700 L/10a	収穫14日前まで	1回	散布	1回
だいおう	ヨトウムシ	1000	100~300 L/10a	生育期但し、 収穫230日前まで	3回以内	散布	3回以内
みしまさいこ	アブラムシ類	1500		収穫30日前まで			
薬用にんじん			ソルガム	1000	収穫180日前まで	5回以内	散布
やまのいも	ジャガイモガ ジャガイモガ アブラムシ	1000			収穫45日前まで		
葉しょうが	アワノメイガ	1000	収穫21日前まで	2回以内	散布	2回以内	
たばこ	ヨトウムシ、オオタバコガ アブラムシ類	1500~2500	25~180 L/10a				収穫10日前まで
	ヤサイヨトウムシ	1000~2000	1L/m <sup>2</sup>	苗床期			
	ジャガイモガ 若齢幼虫 ジャガイモガ 中齢幼虫	1500~2000	25~180 L/10a	収穫10日前まで			
つつじ類	ツツジゲンバイ	1500	200~700 L/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内
つばき類	チャドクガ	1000~1500					
さくら	モンクロシャチホコ アヲカシロヒトリ	1000~1500 1500~2000	1000~1500	発生初期	5回以内	散布	5回以内
花き類・ 観葉植物	アザミウマ類、アブラムシ類 アオムシ、ヨトウムシ類	1000~1500					
きく	マハモグリハエ、オオタバコガ	1000	100~300 L/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内
ストック	コナガ、ハイマダラメイガ						
宿根アスター	ヨナシハモグリハエ	1000	100~300 L/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内
オンシジウム	カイガラムシ類						
カーネーション	コナガ	1000	100~300 L/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内
ひまわり	タバコガ						
斑入りアマトコロ リアトリス	ハマキムシ類	1000	200~700L/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内
樹木類	アザミウマ類						
グラジオラス	アザミウマ類	1000	—	植付時	1回	10分間 球根浸漬	1回
芝	シバツグ、タナキガ	1000	0.25~2L/m <sup>2</sup> 1~2L/m <sup>2</sup> 2L/m <sup>2</sup> 0.5~1L/m <sup>2</sup>	発生初期	5回以内	散布	5回以内
	スジキリヨウ、ケラ						
	シバオサゾウムシ成虫						
	アカツツリガ						
もりあざみ	アブラムシ類	1500	100~300 L/10a	収穫45日前まで	1回	散布	1回
まめ科牧草	アブラムシ類	1000	100~300 L/10a	3回以内	3回以内	散布	3回以内



北興化学工業株式会社

☎03-3279-5161

http://www.hokkochem.co.jp/

13175P01002

使用者の皆さまへ

**家庭園芸用  
GFオルトラン®水和剤**  
(農林水産省登録第21819号)

**登録内容変更についてのお知らせ**

平成26年11月17日付で、以下の登録内容が変更となりました。

日本では、農薬の安全性を一層担保するために、今年から短期暴露評価が導入されることになりました。この評価にあたり、家庭園芸用GFオルトラン水和剤は自主的に登録縮小の申請をし、登録されました。

これは、新たに登録された使用方法で想定される最大の農薬残留が認められる作物を、たとえ通常より非常に多く1日に摂取した場合でも、健康に影響を与えないようにするためです。このため、使用者の皆さまにおかれましては、以下の新しい登録内容にてご使用いただきますようお願い致します。

●**農薬登録の削除作物について**

下記作物への適用が削除されました。家庭園芸用GFオルトラン水和剤の使用をしないようお願いします。

家庭園芸用GFオルトラン水和剤

作物名	
かんきつ	なす
トマト	ミニトマト
はつかだいこん	ブロッコリー
だいこん	

その他、「とうもろこし」が「未成熟とうもろこし」に変更されます。

●**使用方法の変更作物について**

今後、家庭園芸用GFオルトラン水和剤は、右表のとおり農薬登録変更内容においてご使用願います。

使用上の注意事項などについては、製品ラベルをご参照ください。

【表 家庭園芸用GFオルトラン水和剤 使用方法変更内容(変更部分のみ抜粋)】

※印は本剤及びその有効成分を含む農薬の総使用回数制限を示す。

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	総使用回数 ※	使用方法
キャベツ	ヨトウムシ ハスモンヨトウ タマナギンウバ	1,000~1,500倍	100~300 mℓ/m <sup>2</sup>	収穫30日 前まで	1回	散布
	アオムシ コナガ アブラムシ類	1,000~2,000倍				
はくさい	カブラハバチ ヨトウムシ ハスモンヨトウ	1,500~2,000倍	100~300 mℓ/m <sup>2</sup>	収穫30日 前まで	1回	散布
	ヨトウムシ	1,000~1,500倍				
レタス	オオタバコガ	1,000倍	100~300 mℓ/m <sup>2</sup>	収穫30日 前まで	3回以内	散布
	アブラムシ類 ジャガイモガ	1,000~1,500倍				
ばれいしょ	テントウムシダマシ幼虫 ヨトウムシ	1,000倍	100~300 mℓ/m <sup>2</sup>	収穫30日 前まで	2回以内	散布
	アブラムシ類					
未成熟 とうもろこし	アブラムシ類	1,000倍	100~300 mℓ/m <sup>2</sup>	収穫7日 前まで	2回以内	散布
オクラ	アブラムシ類 ミドリヨコバイ	1,000倍	100~300 mℓ/m <sup>2</sup>	収穫開始 7日前まで	1回	散布
ぶどう	チャノキイロアザミウマ フタテンヒメヨコバイ	1,500~2,000倍	200~700 mℓ/m <sup>2</sup>	収穫60日 前まで	1回	散布
	ハマキムシ類	1,500倍				
かき	カキクダアザミウマ カキノヘタムシガ チャノキイロアザミウマ	1,500倍	200~700 mℓ/m <sup>2</sup>	収穫45日 前まで	2回以内	散布

作物名「かき」の「適用害虫名」の「カキノヒメヨコバイ」が削除されました。

使用者の皆さまへ

## 家庭園芸用 GFオルトラン®粒剤

(農林水産省登録第 21789 号)

## 登録内容変更 についてのお知らせ

平成 26 年 11 月 17 日付で、以下の登録内容が変更となりました。

日本では、農薬の安全性を一層担保するために、今年から短期暴露評価が導入されることになりました。この評価にあたり、**家庭園芸用GFオルトラン粒剤**は自主的に登録縮小の申請をし、登録されました。

これは、新たに登録された使用方法で想定される最大の農薬残留が認められる作物を、たとえ通常より非常に多く 1 日に摂取した場合でも、健康に影響を与えないようにするためです。このため、使用者の皆さまにおかれましては、以下の新しい登録内容にてご使用いただきますようお願い致します。

### ●農薬登録の削除作物について

下記作物への適用が削除されました。家庭園芸用GFオルトラン粒剤の使用をしないようお願いします。

### 家庭園芸用 GF オルトラン粒剤

作物名	
ミニトマト	はつかだいこん

### ●使用方法の変更作物について

今後、家庭園芸用GFオルトラン粒剤は、右表のとりの農薬登録変更内容においてご使用願います。

使用上の注意事項などについては、製品ラベルをご参照ください。

【表 家庭園芸用GFオルトラン粒剤 使用方法変更内容(変更部分のみ抜粋)】

※印は本剤及びその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	総使用回数※	使用方法
きゅうり なす	アブラムシ類 アザミウマ類 オンシツコナジラミ	3~6g/m <sup>2</sup> (1株当り 1~2g)	定植時	1回	植溝散布 又は 植穴処理
トマト	アブラムシ類 オンシツコナジラミ				
ピーマン	アブラムシ類	1株当り2g	育苗期	本剤：1回 アセフェート：2回以内 (定植時までの処理は1回以内、 定植後の散布は1回以内)	株元散布 散布
キャベツ	アオムシ コナガ ヨトウムシ アブラムシ類	3~6g/m <sup>2</sup> (1株当り 1~2g)			
はくさい	アブラムシ類	6g/m <sup>2</sup> (1株当り2g)	定植時	1回	植穴処理
ブロッコリー	ヨトウムシ	6g/m <sup>2</sup> (1株当り2g)			
だいこん	アオムシ コナガ アブラムシ類	3~4g/m <sup>2</sup>	は種前	1回	株元散布
かぶ		4g/m <sup>2</sup>	収穫21日前まで		
ばれいしょ	アブラムシ類	3~6g/m <sup>2</sup> (1株当り 1~2g)	植付時	本剤：1回 アセフェート：3回以内 (植付時の処理は1回以内、 植付後は2回以内)	植溝散布

使用者の皆さまへ

## オルトラン® DX粒剤

(農林水産省登録第 21733 号)

## 登録内容変更についてのお知らせ

平成 26 年 11 月 17 日付で、以下の登録内容が変更となりました。

日本では、農薬の安全性を一層担保するために、今年から短期暴露評価が導入されることになりました。この評価にあたり、**オルトラン DX 粒剤**は自主的に登録縮小の申請をし、登録されました。

これは、新たに登録された使用方法で想定される最大の農薬残留が認められる作物を、たとえ通常より非常に多く 1 日に摂取した場合でも、健康に影響を与えないようにするためです。このため、使用者の皆さまにおかれましては、以下の新しい登録内容にてご使用いただきますようお願い致します。

### ●使用方法の変更作物について

**今後、オルトラン DX 粒剤は、下表のとおり農薬登録変更内容においてご使用願います。**  
使用上の注意事項などについては、製品ラベルをご参照ください。

【表 **オルトラン DX 粒剤** 使用方法変更内容 (変更部分のみ抜粋)】

※印は本剤及びその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	総使用回数 ※	使用方法
きゅうり	コナジラミ類	2g/株	定植時	<b>本剤：1回</b> <b>アセフェート：1回</b> <b>クロチアニジン：4回以内</b> (育苗期の株元処理及び 定植時の土壌混和は <b>合計1回以内、</b> <b>散布及び定植後の株元散布は</b> <b>合計3回以内)</b>	植穴処理 土壌混和
なす	アブラムシ類				
トマト		1g/株			